平成３０年度予算案

～“すみだの夢”実現への着実な推進～

つながる
墨田区

平成30年2月2日　SUMIDA CITY

目次

- 予算概要（抜粋）
- 平成30年度当初予算案と平成29年度当初予算の比較
- 未来につなぐファミリー世帯の定住促進
- 東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業
- シティプロモーション戦略の推進
- 「暮」地域力日本一の住んで良かったまちをつくる
- 「働」活躍したい人が輝くチャンスをつかめるまちをつくる
- 「訪」さまざまな交流が生まれる憧れのまちをつくる
- その他主要事業

平成３０年度

予 算 概 要

墨田区

１　平成３０年度予算編成の基本的考え方

予算の位置付け

◆“すみだの夢”実現への着実な取組

◆東京2020オリンピック・パラリンピック開催とそのレガシーが“すみだ”の未来の礎となる予算

編成に当たっての考え方

１　“すみだの夢”実現に向けた実効性の高い取組を確実に推進するとともに、地域力の向上を図り「人 つながる 墨田区」の実現を図る。

２　区民目線に立った事業の見直しや「選択と集中」による事業の再構築により、さらなる行財政改革の推進を図る。

２　平成３０年度予算における重点課題①

重点課題 ①

～「暮らし続けたいまち」の実現～

子ども・子育て支援の充実、ソフト・ハード両面からの防災・減災対策の強化、誰もが元気に支え合う社会の実現に向けた取組など、「地域力日本一の、住んでいてよかったまち」をつくります。

２　平成３０年度予算における重点課題②

重点課題 ②

～「働き続けたいまち」の実現～

新たなビジネスの生まれる土壌づくりや、希望に応じた就労ができる環境づくりにより、「活躍したい人が、輝くチャンスをつかめるまち」をつくります。

２　平成３０年度予算における重点課題③

重点課題 ③

～「訪れたいまち」の実現～

誰もが安心してまち歩きを楽しめ、「すみだらしさ」にふれることのできるまちづくりや、おもてなしの心の育成により、「さまざまな交流が生まれる、あこがれのまち」をつくります。

２　平成３０年度予算における重点課題④

重点課題 ④

～シティプロモーション戦略～

魅力的な情報発信により、区への愛着と誇りを育むとともに、区外から共感や憧れを生み出すことで、「多くの人が『つながる』まち」をつくります。

２　平成３０年度予算における重点課題⑤

重点課題 ⑤

～東京２０２０オリンピック・パラリンピックに向けて～

区内開催競技や地域特性を活かした気運醸成、大会を契機としたスポーツ・文化・教育の振興、共生社会の実現に向けた取組等を推進し、レガシーへとつなげます。

２　平成３０年度予算における重点課題⑥

重点課題 ⑥

～行財政改革の推進～

▼「選択と集中」、「民間感覚」、「スピード感・コスト意識」を重視した行政運営

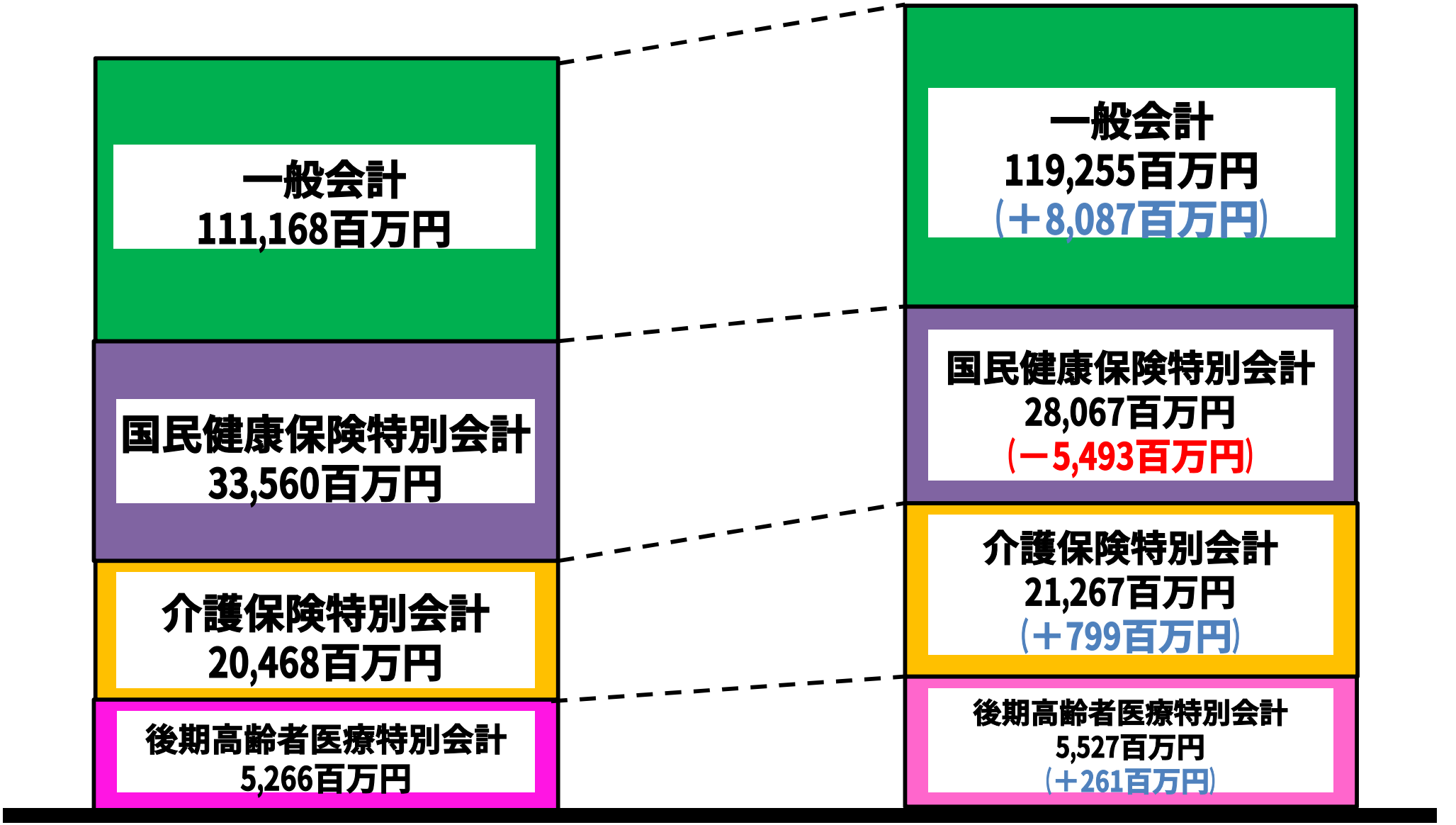
▼持続可能な行政サービス基盤の確立と簡素で効率的な行政システムの構築

▼事務事業の見直し、公共施設の再編、効率的な管理運営等による、強固な財政基盤の構築

▼「便利さの向上を常に考える電子自治体」へ向けた情報化の取組の推進

人 つながる 墨田区

平成30年度当初予算案と平成29年度当初予算の比較



平成29年度当初予算
170,462百万円

平成30年度当初予算案
174,116百万円（＋3,654百万円）

平成３０年度一般会計歳入歳出予算(案)

(歳入)　　（単位：千円）

科目	平成３０年度		平成２９年度		比較増△減	
	予算額	構成比（%）	予算額	構成比（%）	増△減額	増△減率（%）
1 特別区税	23,809,000	20.0	23,465,000	21.1	344,000	1.5
2 地方譲与税	350,000	0.3	366,000	0.3	△ 16,000	△ 4.4
3 利子割交付金	72,000	0.1	57,000	0.1	15,000	26.3
4 配当割交付金	321,000	0.3	380,000	0.4	△ 59,000	△ 15.5
5 株式等譲渡所得割交付金	88,000	0.1	255,000	0.2	△ 167,000	△ 65.5
6 地方消費税交付金	5,244,000	4.4	5,897,000	5.3	△ 653,000	△ 11.1
7 自動車取得税交付金	273,000	0.2	149,000	0.1	124,000	83.2
8 地方特例交付金	186,000	0.1	174,000	0.2	12,000	6.9
9 特別区交付金	40,669,000	34.1	38,060,546	34.2	2,608,454	6.9
10 交通安全対策特別交付金	25,000	0.0	25,000	0.0	0	0.0
11 分担金及び負担金	2,582,469	2.2	2,167,310	1.9	415,159	19.2
12 使用料及び手数料	2,171,874	1.8	2,171,383	2.0	491	0.0
13 国庫支出金	23,384,071	19.6	21,879,046	19.7	1,505,025	6.9
14 都支出金	9,338,476	7.8	8,119,792	7.3	1,218,684	15.0
15 財産収入	118,006	0.1	91,610	0.1	26,396	28.8
16 寄付金	326,390	0.3	271,390	0.2	55,000	20.3
17 繰越金	1,500,000	1.2	1,500,000	1.4	0	0.0
18 諸収入	1,509,001	1.3	1,501,576	1.4	7,425	0.5
19 繰入金	3,582,713	3.0	2,816,347	2.5	766,366	27.2
20 特別区債	3,705,000	3.1	1,821,000	1.6	1,884,000	103.5
合計	119,255,000	100.0	111,168,000	100.0	8,087,000	7.3

（計数未整理につき変動ある見込み）

(歳出)　　（単位：千円）

科目	平成30年度 予算額	平成30年度 構成比（%）	平成29年度 予算額	平成29年度 構成比（%）	比較増△減 増△減額	比較増△減 増△減率（%）
1 議会費	659,567	0.6	667,005	0.6	△ 7,438	△ 1.1
2 総務費	9,155,269	7.7	8,748,790	7.9	406,479	4.6
3 区民生活費	7,142,936	6.0	6,198,288	5.6	944,648	15.2
4 資源環境費	3,947,818	3.3	3,921,641	3.5	26,177	0.7
5 民生費	67,144,909	56.3	64,078,831	57.6	3,066,078	4.8
6 衛生費	3,923,030	3.3	3,877,319	3.5	45,711	1.2
7 産業観光費	1,654,200	1.4	1,694,160	1.5	△ 39,960	△ 2.4
8 土木費	11,121,515	9.3	9,109,305	8.2	2,012,210	22.1
9 教育費	11,364,869	9.5	9,707,200	8.7	1,657,669	17.1
10 諸支出金	3,040,887	2.5	3,065,461	2.8	△ 24,574	△ 0.8
11 予備費	100,000	0.1	100,000	0.1	0	0.0
合計	119,255,000	100.0	111,168,000	100.0	8,087,000	7.3

（計数未整理につき変動ある見込み）

～すみだの未来に向けた新たな礎～
未来につなぐファミリー世帯の定住
東京2020オリンピック・パラリンピック
関連事業
シティプロモーション戦略の推進

つながる
墨田区

～ずっとずっとすみだにいてね！～

未来につなぐファミリー世帯の定住

～ずっと「すみだ」に暮らし続けられるように～

子育て世帯等の定住促進支援事業

予算額（新規）
33,900千円(1)(2)(3)
2,000千円(4)

問合せ
住宅課長
若菜 進　内線3931
広報広聴担当課長
前田 恵子　内線3611

1　目的

住宅に係る費用負担の軽減など、子育て世帯の住み替え需要に対する新たな支援策を展開し、子育て世帯の区外転出抑制並びに区外からの転入促進を図る。

2　主な支援事業内容

(1) 三世代同居・近居住宅購入費助成[9,000千円]

子育て世帯が、区内居住の親世帯と同居又は近居するため新たに住宅を建設・購入する場合に、**最大50万円**の助成を行う。
さらに、(独)住宅金融支援機構と「フラット35子育て支援型」に関する協定を締結し、この事業を利用した方が、**借入金利の優遇**を受けられるようにする。

(2) 民間賃貸住宅への転居費助成[14,400千円]

子育て世帯が、区内で転居する場合や区内居住の親世帯と同居又は近居するために区外から転入してくる場合に、**最大36万円**の助成を行う。

(3) 空き家利活用のモデル事業[10,500千円]

子育て世帯が住みたいと感じる空き家の改修支援を行い、区内への定住と空き家利活用の事業化を促進する。

(4) 定住促進ブックの作成[2,000千円]

すみだの魅力をすみずみまで知ることができる定住促進ブック「すみだを住みこなすマガジン」を作成する。

様々な支援事業でずっと暮らし続けられる！

例えば…
親の近くで子育てがしたい！

三世代同居・近居住宅費購入助成

すみだに引っ越しを考えているのだけど子育て支援はどうなのかな？

定住促進ブック「すみだを住みこなすマガジン」の作成

子どもが大きくなったので、広い家に移りたい！

民間賃貸住宅への転居費助成

墨田区らしい家やオシャレな家で暮らしたい！

空き家利活用のモデル事業

子どもたちに安全安心な居場所を

放課後の居場所の充実

予算額（拡充）
709,321千円
（学童クラブの新設等及び運営）
720千円
（放課後子ども総合プランモデル事業）
4,000千円
（ボール遊びができる広場整備事業）

問合せ
子育て政策課長　高橋　義之
内線　3401
地域教育支援課長　岡本 香織
内線　5151
道路公園課長　齋藤　雄吉
内線　5051

1　目的

ファミリー世帯が安心して日常生活を送るために、子どもたちの放課後の居場所を充実させる。

2　内容

(1)　放課後子ども総合プランの推進

ア　学童クラブの新設等及び運営(新規・拡充)[709,321千円：うち新設等38,184千円]

既存学童クラブの運営と併せて、墨田区子ども・子育て支援事業計画に基づき、学童クラブの増設や定員拡充。並びに児童館事業や放課後子ども教室と連携した事業の充実を図る。平成30年4月には40カ所に拡充する。

イ　放課後子ども総合プランモデル事業(放課後子ども教室と学童クラブの共通プログラム)(拡充)[720千円]

放課後子ども教室実施団体と学童クラブ運営事業者が連携し、様々な体験・交流活動を実施する。平成30年度は4校で実施予定

(2)　ボール遊びができる広場整備事業(新規)[4,000千円]

○銅像堀公園(向島5-9-1)
○こまどり児童遊園(東駒形1-2-11)
→ 既設の公園に必要な機能を追加し、ボール遊びができるようにする

○錦糸公園野球場(錦糸4-15-1)
○東墨田公園少年野球場(東墨田3-4-14)
○荒川四ツ木橋緑地競技場(墨田4丁目、5丁目地先)
→ 月2回数時間程度、小学生以下を対象に無料開放する

■放課後子ども総合プランの推進

学童クラブ	放課後子ども教室
児童館や学校の空き教室等を利用して、主に共働き家庭等の子どもに生活の場を提供するもので、事業者に委託して実施 **平成30年4月に40カ所に拡充**	学校施設を利用して、放課後の子どもたちの安全・安心な居場所を確保し、地域の方々の見守りのもと、学習や様々な体験・交流活動を実施 [活動例] 学習支援、自由遊び、文化活動、スポーツ活動等々

連携して企画・実施

放課後子ども総合プランモデル事業

ミニ運動会、宝探し、科学実験、工作etc

■ボール遊びができる広場整備事業

施設イメージ

子どもたちの確かな学力の定着と向上を目指します！

魅力ある学校環境の整備

予算額（新規・拡充）
69,597千円(国際理解教育の充実(82,652千円)のうち新規・拡充分)
75,595千円(学力向上「新すみだプラン」の推進)
35,226千円（学校図書館の充実）

問合せ
教育委員会事務局
指導室長
横山 圭介　内線5140
すみだ教育研究所長
石原 恵美　内線5231
学務課長
須藤　浩司　内線5121

1　国際理解教育の推進

（1）　TOKYO　GLOBAL　GATEWAY(新規)[3,120千円]
疑似空間(英語村)で、日常生活・サイエンスなど幅広いシーンでの英語体験学習を行う。(中学校2年生)

（2）　NT（外国人講師）の拡充(拡充)[66,407千円]
1学級あたりのNTの配置時間数を増やす。（小学校高学年）
平成29年度　23時間　→　平成30年度　**35時間**

（3）幼保小中一貫教育推進のための英語の交流(新規)[714千円]
英語に関する教材を活用して、幼児が遊びを通して英語に触れる環境を整備する。

2　学力向上「新すみだプラン」の推進

（1）すみだスクールサポートティーチャー（すみだＳＳＴ）による学習支援(拡充)[3,854千円]
すみだＳＳＴ（地域人材の登録制度、有償ボランティア）を学校に派遣し、放課後の補習を中心とした学習支援を行う。

（2）すみだチャレンジ教室の実施(拡充)[14,680千円]

（3）教材開発の強化等
区全体の課題である社会科の授業支援や教材開発を行うため、新たに社会科教育指導員を配置する。

3　学校図書館の充実（拡充）[35,226千円]

学校図書館の蔵書の充実を図り、生徒の探究力や調べる力を向上させる。また、すみだSSTを配置し、学校図書館の利用を促進し、学力の向上に繋げる。

●第21回図書館を使った調べる学習コンクール実績
(墨田区内小中学校入賞作品数)
■文部科学大臣賞　1作品　■「国連生物多様性の10年日本委員会」賞　1作品
■優良賞　17作品　■奨励賞　28作品　■佳作　63作品

学力向上「新すみだプラン」の推進イメージ

放課後の補習等を充実し、授業内容を定着させる

放課後
- すみだＳＳＴによる学習支援（放課後の補習等）
- 中学校の学校図書館へすみだＳＳＴを配置（学校図書館の利用促進）
- すみだチャレンジ教室の実施（学習意欲喚起、学習習慣確立、基礎・基本の定着）
  ６校分 ⇒ ９校分へ拡充
- 大学生がチームで放課後の補習を支援

土曜日
- すみだチャレンジ教室の実施（放課後の補習）

夏休み
- 小学校で、すみだＳＳＴによる夏休みの補習
- 中学生対象　すみだチャレンジ教室の実施

※区の学力調査結果から、社会科・理科に課題がみられる。
平成２６年度に理科教育指導員を配置
平成３０年度から、新たに社会科教育指導員を配置

～すみだは国技館でボクシング～
東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業

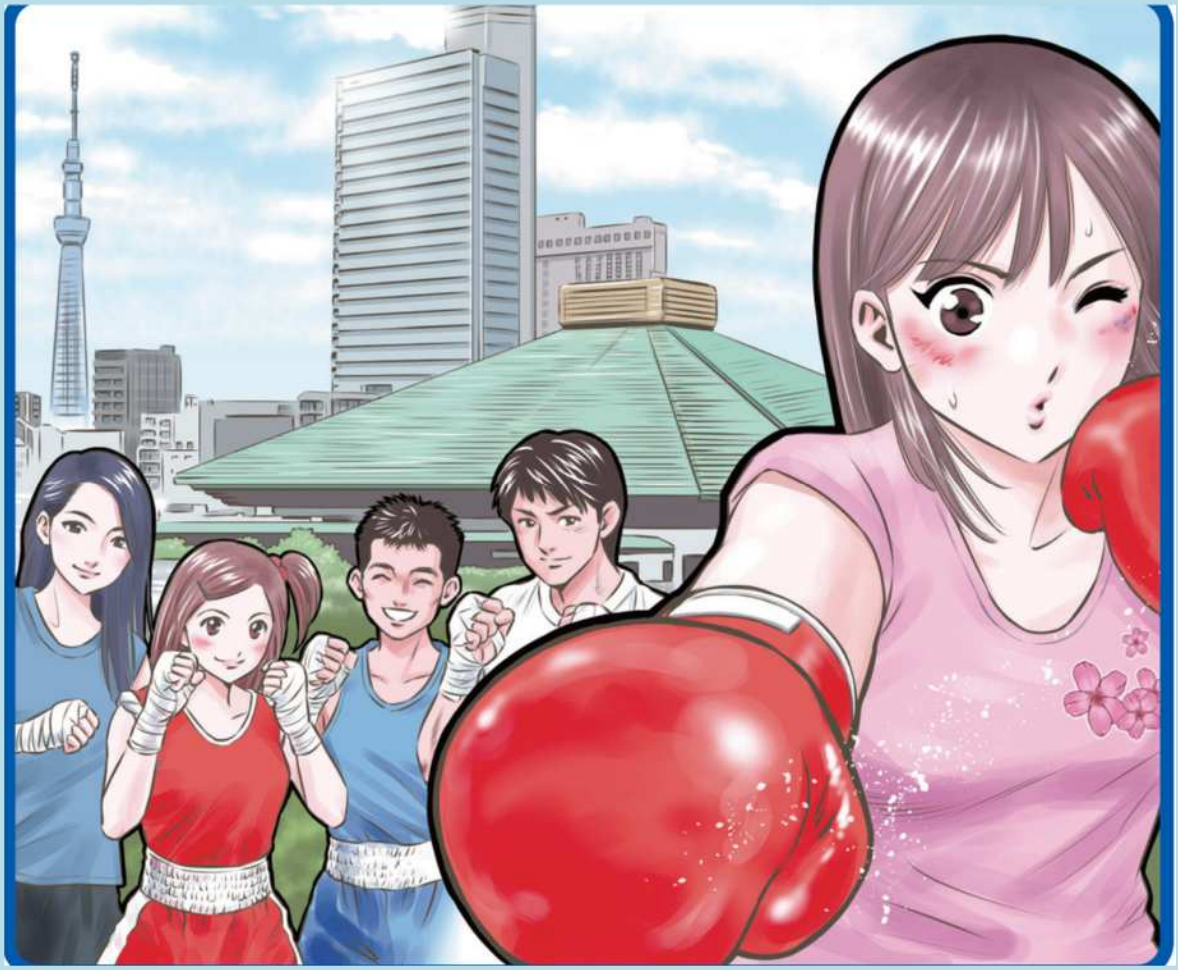
あしたのためにその1
(おもてなし・交流/スポーツ・健康)
- **墨田区×「あしたのジョー」**
- **スポーツによる気運醸成**
- **全員参加で地域協議会の運営**
- **語学ボランティア登録支援事業**

あしたのためにその2
(文化・観光・産業/教育)
- **北斎交流(再掲)**
- **障害者アート振興事業**
- **地域ブランド戦略の推進(再掲)**
- **台東区との連携事業(再掲)**
- **オリンピック・パラリンピック教育の推進**

あしたのためにその3
(まちづくり・環境)
- **東京オリンピック・パラリンピック競技会場周辺整備**
- **両国観光まちづくりグランドデザインの推進**
- **歴史説明板の設置**
- **両国リバーセンターの整備**

あしたのためにその4
(まちづくり・環境)
- **道路バリアフリー整備**
- **歩行者・自転車通行空間整備**
- **地点名標識英語表記改善**
- **旧安田庭園再整備**
- **北十間川・隅田公園観光回遊路整備事業(再掲)**

すみだは国技館でボクシング



2020年に向けて、打つべし！

あしたのためにその1 (おもてなし･交流/スポーツ･健康)

予算額（新規･拡充）
19,490千円(オリパラ気運醸成事業)
0千円(語学ボランティア登録支援事業)

問合せ
オリンピック･パラリンピック準備室長　岐部晴文　内線5460
スポーツ･学習課長　大野　勝　内線5490
高齢者福祉課長　福田　純子　内線3410

墨田区×「あしたのジョー」　（7,000千円）

本区も物語の舞台とし、今年連載開始50周年を迎える漫画「あしたのジョー」（原作：高森朝雄･ちばてつや）とタッグを組みPRキャンペーンを展開する。

シティードレッシング等

のぼり旗、卓上のぼり旗等に起用

（画像はイメージです。
実際とは異なります。）

「あしたのジョー」は連載開始から50周年！

©高森朝雄･ちばてつや／講談社

スポーツによる気運醸成　（10,000千円）

10月を「スポーツ月間」と位置付け、区民が気軽にスポーツを楽しめるようなイベントを行うことで、スポーツ実施率向上や健康増進につなげる。

ボクシング普及啓発

ボクシング体験教室･選手との交流

全員参加で地域協議会の運営　（2,490千円）

「オールすみだ」で、「すみだならでは」の取組を推進する。また、未来枠に参画する若い世代には、マラソン大会の検討等、本区の活性化に資する取組についての自由闊達な意見交換を促すほか、気運醸成に資する取組への支援を行う。

地域協議会の運営

すみだのオリパラ
＝(ボクシング+両国+相撲+隅田川)×つながり

語学ボランティア登録支援事業[0千円]

本区で実施する日本語学習支援事業で学んだ外国人から、語学ボランティアとして活動したいと申し出を受け、活躍に向けた情報提供などの支援を行う。

2020年に向けて、打つべし！

あしたのためにその2 (文化･観光･産業/教育)

予算額（新規･拡充）
50,909千円(北斎交流)
45,000千円(すみだ地域ブランド戦略の推進「ものづくりコラボレーション事業」)
4,000千円(障害者アート振興事業)
11,700千円(オリンピック･パラリンピック教育の推進)
8,000千円(台東区との連携事業)

問合せ
文化芸術振興課長　南部 友孝　内線5451
障害者福祉課長　杉崎 和洋　内線3361
産業振興課長　中山賢治　内線5431
観光課長　佐久間　英樹　内線5481
教育委員会事務局指導室長　横山圭介
内線5140

北斎交流(再掲)

東京2020オリンピック･パラリンピックの開催を契機とし、「すみだ」が持つコンテンツ“北斎”を通じて展開する海外交流･地域交流を行う。

1　海外交流
　欧米美術館との交流促進
2　地域交流
　「隅田川　森羅万象　墨に夢（すみゆめ）プロジェクト」の継続･拡充実施
3　文化芸術振興のあり方検討

障害者アート振興事業[4,000千円]

東京2020参画プログラムに登録し、下記のイベントを実施(予定)

1　ワークショップの開催
　葛飾北斎の様々な画風や視点を取り入れたワークショップの開催
2　すみだ北斎美術館での作品展示
　ワークショップの参加者を中心に作品を展示

地域ブランド戦略の推進「ものづくりコラボレーション事業」(再掲)

東京オリンピック･パラリンピックを契機とした　新プロジェクト（すみだコンテンポラリー）の実施

台東区との連携事業(再掲)

昨年10月に締結した連携協定に基づき、両区の観光資源等を更に連携させ、有効活用を図る。競技大会等に向け、更なる観光誘客に両区一丸となって取り組んでいく。

1　明治150年記念事業「（仮）江戸を守った男たち」
2　（仮）池波正太郎が描いた江戸巡り
3　隅田川両岸でのイベント連携

オリンピック･パラリンピック教育の推進[11,700千円]

オリンピックの歴史･文化･国際親善理解、アスリート等の招聘
　学校にオリンピアン･パラリンピアン等と子どもとの直接的な交流活動の希望を聞き取り、講師として招聘する。

2020年に向けて、打つべし！

あしたのためにその3 (まちづくり・環境)

予算額（拡充）
1,125,619千円（競技会場周辺整備）
10,214千円（両国グランドデザイン）
2,000千円（両国リバーセンターの整備）

問合せ
道路公園課長　齋藤 雄吉　内線5051
都市計画課長　武井 勝人　内線3901
観光課長　佐久間 英樹　内線5481
都市整備課長　天海 晴彦　内線3911
子育て支援総合センター館長
村田 里美　5630-6351

整備内容

(1) 東京オリンピック・パラリンピック競技会場周辺整備(拡充)
(平成31年度事業完了予定)
- 墨6号、7号、10号、106号路線
電線共同溝整備工事 [595,619千円]
- 墨7号、墨106号路線道路景観整備工事 [180,000千円]
- 国技館通り道路景観整備工事 [350,000千円]

(2)両国駅周辺のまちづくり（両国ＧＤ）

①両国観光まちづくりグランドデザインの推進[5,014千円]
エリア懇談会や地域連絡会でワークショップ等を積み上げながら、地区ごとの特性に応じた観光まちづくりを推進する。

②歴史説明板の設置[5,000千円]
立川第二児童遊園（安兵衛公園）内に地域の歴史を紹介する歴史説明板を設置するなど、両国地域の回遊性の向上を図る。

③地域の既存イベントへの協力[200千円]
エリア懇談会、地域連絡会を通じて地域の意見を集約し、既存イベントの充実を図る。

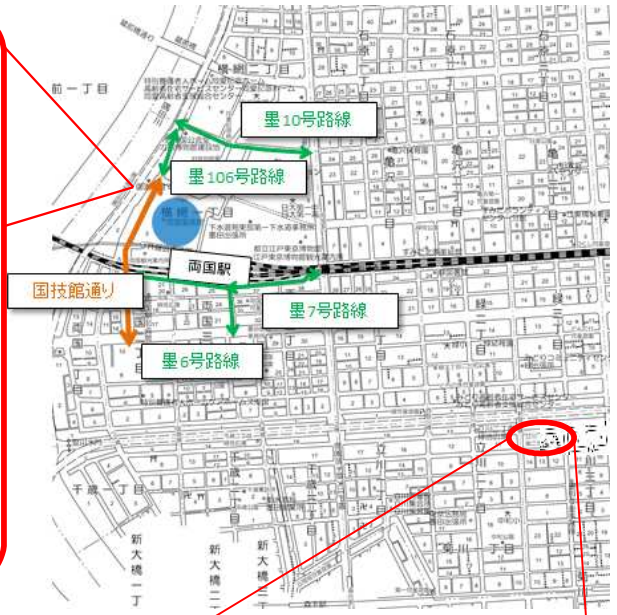
(3)両国リバーセンターの整備[2,000千円]
両国地区において、ホテルやレストラン、水上バス待合所、両国子育てひろば等を有する複合拠点施設を整備するとともに、水上ルートの拡大やスーパー堤防の整備等、防災機能の強化を図る。

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて新たなにぎわいを創出

■両国リバーセンター
(複合拠点施設)(イメージ)

住　　所　横網１－２－１５ほか
建築面積　約１,２００㎡
階　　数　地上９階／地下０階

■事業箇所図



■歴史説明板の設置(イメージ)
立川第二児童遊園（安兵衛公園）
(立川３丁目)に設置予定

2020年に向けて、打つべし！

あしたのためにその4 (まちづくり・環境)

予算額
383,364千円 (1) (2)(3)(4)
503,980千円(5)

問合せ
都市整備課長
天海 晴彦　内線3911
道路公園課長
齋藤 雄吉　内線5051

1　目的

両国地区と主要観光施設を結ぶ路線において、安全・安心で快適な道路空間を整備する。

また、東京都名勝に指定されている旧安田庭園を魅力ある観光資源として再整備する。

2　整備内容

(1) 道路バリアフリー整備[130,020千円]
- ・墨１１１号路線：延長280m (総延長500m)
- ・歩道のバリアフリー化、街路樹植替え (新樹種については調整中)

(2) 歩行者・自転車通行空間整備[185,100千円]
- ・区役所通り：延長320m (総延長1,200m)
- ・歩道のバリアフリー化、街路樹植替え (プラタナス⇒ヒトツバタゴ)
- ※自転車レーン等の設置については平成３１年度に実施予定

(3) 地点名標識英語表記改善[13,020千円]
- ・錦糸町、曳舟エリア

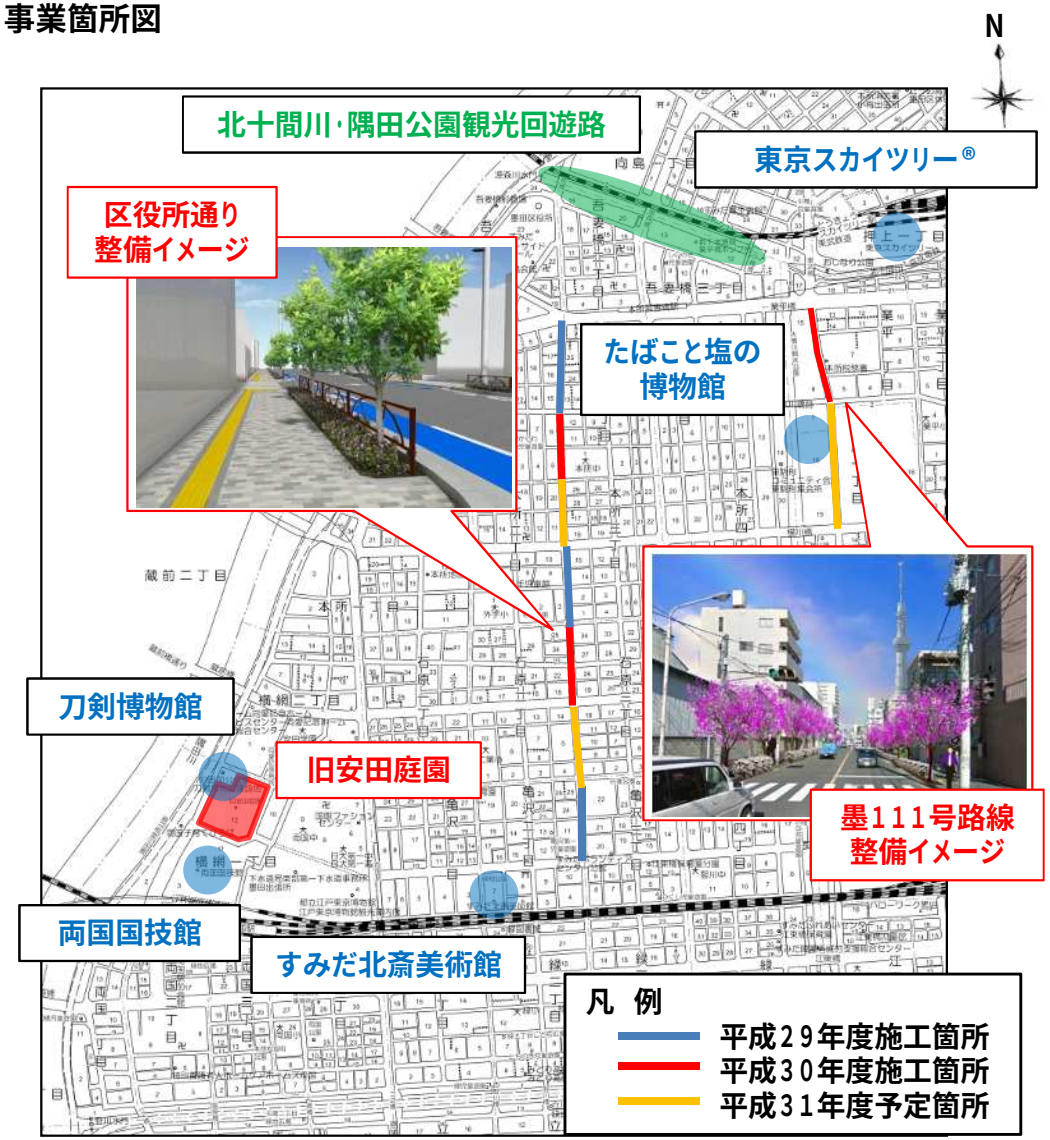
(4) 旧安田庭園再整備　[55,224千円]
- ・園路沿い柵、ライトアップ用施設、灯篭の調整、石積護岸補修等

(5) 北十間川・隅田公園観光回遊路整備事業　(再掲)[503,980千円]
- ・コミュニティ道路整備、隅田公園再整備、小梅橋架替え、地元協議会等

3　スケジュール

【墨１１１号路線】　平成30年度～平成31年度 (予定)
【区役所通り】　～平成31年度 (予定)
【地点名標識英語表記改善】　～平成31年度 (予定)

事業箇所図



つながる
墨田区

～新たな時代に向けた魅力の発信～

シティプロモーション戦略の推進

すみだの観光･文化を発信！

すみだらしい　新たな時代の幕開け

予算額（新規･拡充）
6,000千円（明治150年記念事業）
768千円（隅田川神社社殿調査等の実施）
8,410千円（すみだ郷土文化資料館開館20周年記念事業）

問合せ
観光課長
佐久間　英樹 内線5481
地域教育支援課長
岡本 香織　内線5151

事業の概要

1　目的

明治150年やすみだ郷土文化資料館開館20周年を迎えることから、これを契機として、どこよりも素敵で魅力的なまちすみだを発信していく。

2　事業概要

（1）明治150年関連事業

ア　明治150年記念事業「（仮）江戸を守った男たち」
〔台東区との共同イベント全体として6,000千円〕（新規）

台東区との観光分野における連携協定事業の一環。勝海舟、西郷隆盛らにスポットを当てた講演会やシンポジウム、両区共同の物産展、勝海舟像（墨田区）と西郷隆盛像（台東区）を結ぶまち歩きガイドツアーなどを開催する（平成30年秋頃）。

イ　隅田川神社社殿調査等の実施〔768千円〕（新規）

隅田川神社が所蔵する明治期の文化財について調査と適切な保存を行い、墨田区における明治以降の歩みを次世代に遺す。

･隅田川神社社殿の調査
･隅田川神社所蔵資料の燻蒸･保管･整理

（2）すみだ郷土文化資料館開館20周年記念事業（拡充）〔8,410千円〕

開館20周年記念特別展として、「隅田川花火の390年」（仮）を開催する。

特別展では、図録の出版、花火に関する資料（筒･花火玉等）の展示などを行う。

2つの大学がすみだに開設

大学のあるまちづくり

予算額（拡充）
51,623千円

問合せ
政策担当課長
小板橋　一之　内線3711
都市計画課長
武井 勝人　　内線3901

1　目的

策定中の「（仮称）文花地区まちづくり方針(案)」に沿って、文花地区における人々の暮らしと教育、文化、産業が調和するまちづくりを進め、地域の活性化を図る。また、本方針に沿って大学の整備を行う。

2　取組内容

上記方針（案）を基に、まちづくりを進める。さらに、教育・研究交流ゾーンにおいては、誘致予定の大学と共にキャンパス整備の準備を行う。また、事業連携等も充実する。

3　事業詳細

（1）「（仮称）文花地区まちづくり方針(案)」の策定
（2）大学誘致の推進（大学整備用地活用の準備等）
①旧すみだ中小企業センター改修基本・実施設計等
〔45,604千円〕
②国立大学法人千葉大学との事業連携等〔6,019 千円〕

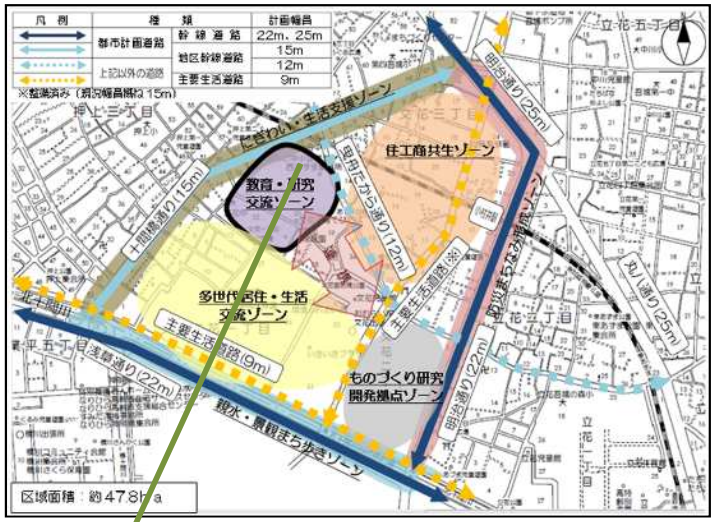
4　今後のスケジュール（予定）

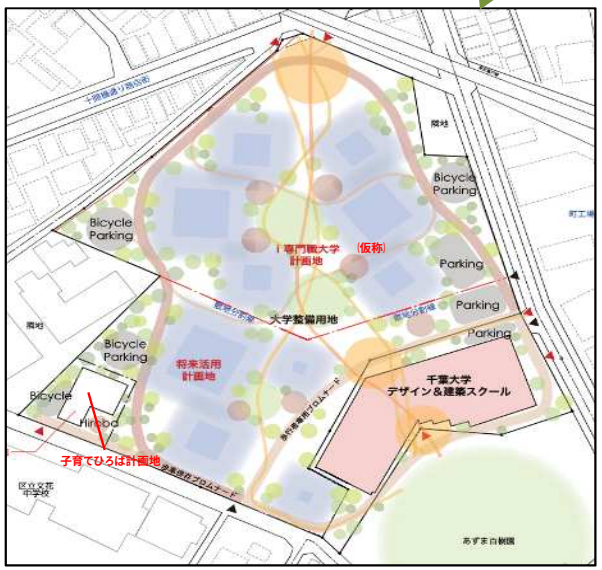
平成30年春　（仮称）文花地区まちづくり方針（案）策定
平成32年4月　学校法人電子学園
「専門職大学」（仮称）を開学
平成33年4月　国立大学法人千葉大学
「デザイン・建築スクール」を開設

（仮称）文花地区まちづくり方針（案）

【ゾーン別方針イメージ図】

※パブリックコメント中（平成30年1月11日～2月13日）のため、変更の可能性あり





大学整備用地イメージ案

墨田区基本計画の着実な取組
暮らし続けたいまちの実現
働き続けたいまちの実現
訪れたいまちの実現

つながる
墨田区

“暮らし続けたいまち”の実現

～地域力日本一の住んでいて良かったまち～

～利便性と安全性・墨田区独自の学習環境～

ＩＣＴ等を活用した行政サービス

予算額（新規）
廃棄物分別検索用チャットボット
2,814千円(リサイクルの普及啓発14,591千円のうち新規分)
児童の安全対策強化事業
88,000千円
児童・生徒のタブレット端末整備
30,550千円

問合せ
すみだ清掃事務所長
西村克己5608－6922
子ども施設課長
金子　明（内線3451）
庶務課長
岸川紀子（内線5102）

1　効率的で利便性の高い行政サービスの提供

23区初！

（1）廃棄物分別検索用チャットボット[2,814千円]（新規）

資源物・ごみの排出方法等を、AIが会話形式で説明。利用者がいつでも気軽に検索できるようにする。

ア　NTTドコモが開発した「Repl-AI（レプル・エーアイ）」(チャットボット)を活用
イ　利用者の入力した単語に対応し即時に回答
ウ　名称が不明でも、形状や材質等の情報から、利用者が知りたい品目や情報を解析して判断

（2）児童の安全対策強化事業費[88,000千円]（新規）

ベビーセンサー等の導入を促進し、児童の安全対策を強化する。
機器の導入により、保育士のチェック機能の補強と心理的負担の軽減を図る。

■1施設あたりの補助上限額：1,000千円（補助率10/10）
■ベビーセンサー：児童の就寝中の様子や異変を知らせる機器。

2　ＩＣＴを活用して育む未来を切り拓く力

（1）児童・生徒のタブレット端末整備（モデル事業）[30,550千円]（拡充）

ア　タブレット端末をモデル校へ配布
　モデル校（小学校：1校　中学校：1校、特別支援学級：数校）
イ　（仮称）エバンジェリストへ配布
　教員10名（教員1名に対し10台配付）
　授業等でのＩＣＴ活用を進めるために、ICT活用への意欲が高く、授業改善を強く実現できる教員にタブレット端末を貸与する。その教員を「（仮称）エバンジェリスト」とし、授業へのＩＣＴの活用ノウハウを他の教員と共有し、ICTを活用した指導力を底上げする。
ウ　「ＩＣＴすみだメソッド」による学習環境の構築
　教育委員会・学校・大学・ＮＰＯ等とつながり、ＩＣＴを活用した効果的な学習環境を構築し、児童・生徒の情報活用能力と学力の向上を目指す。
　例：墨田区の小中学校における得意・苦手科目などに対応した、独自教材を開発。教材は、児童・生徒・教員が活用できるよう、クラウド上で利用する。

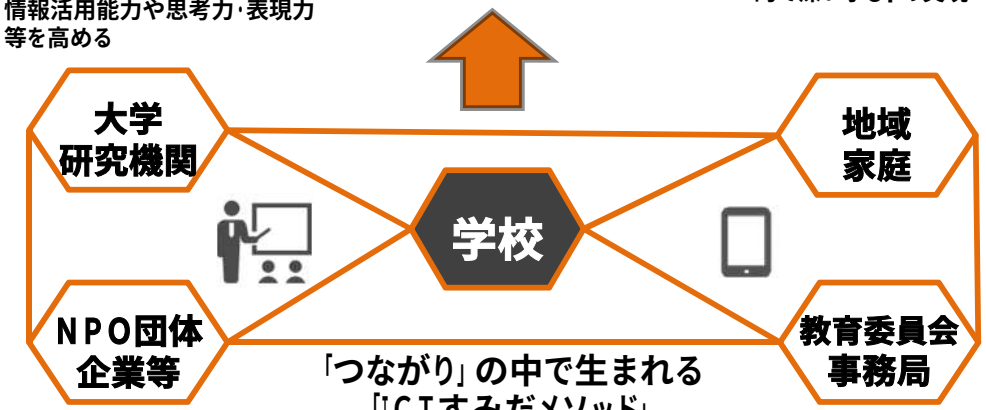
アプリケーションのダウンロードの必要がなく、ＰＣ・スマートフォン等で利用可

・会話形式のため親しみやすい。
・気軽に調べることができる。

児童・生徒が主体的にタブレット端末を活用
情報活用能力や思考力・表現力等を高める

21世紀を生きる子どもたちが必要な力を身につける

ICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」の実現



「つながり」の中で生まれる
「ＩＣＴすみだメソッド」

元気でいきいきと暮らせるまちをめざして

区民の健康づくり

予算額（新規・拡充）
451,965千円(すみだけんしんダイヤルの運営：32,236千円、総合的ながん対策の推進：419,729千円)
13,933千円(後期高齢者に対する「歯科健康診査事業」)
32,521千円(新保健施設等複合施設の整備)

問合せ
保健衛生担当参事 岩瀬 均 内線3501
区民部参事 高橋　宏幸　内線3201
企画経営室副参事 戸梶 大　内線3722

1　がん検診(肺がん検診実施方法の見直し)、総合的ながん対策事業[451,965千円のうち拡充分]

(1) **肺がん検診実施方法の見直し(拡充)**　〔60,578千円〕

平成30年度からは区内実施医療機関で実施し、受診率UPをめざす。

(2) **がん検診等専用コールセンター「すみだ けんしんダイヤル」の時間延長(拡充)**　〔32,236千円〕

平成30年度からは月曜日～金曜日の午前9時～午後6時

(3) **墨田区がん対策基本方針の改定**　〔3,768千円〕

新基本方針の対象期間：平成31年4月からの5年間

2　後期高齢者に対する「歯科健康診査事業」(新規)[13,933千円]

後期高齢者医療制度の被保険者のうち、75歳・79歳の方を対象に以下の事業を行う。

(1)歯科健康診査

飲み込む力の評価など、高齢者向けの健診項目を設定し、歯科健康診査を行う。

(2)予防指導

健康診査の結果を受けて、歯科医が指導の必要があると判断した方を対象に、口腔ケアについて指導を行う。

3　新保健施設等複合施設の整備(新規)[32,521千円]

向島・本所の両保健センターを統合する。統合施設では各地域からの情報を集約するとともに、子育て支援・福祉・教育等の連携を図っていく。なお、整備手法として、設計・施工一括発注（デザイン・ビルド）方式を導入する。

※整備スケジュール

平成30年度	設計・施工一括発注に向けた要求水準書等の作成
平成31年度	設計・施工一括発注準備（プロポーザル等）
	基本設計・実施設計（～平成33年度末頃まで予定）
平成33年度	建設工事（～平成34年度末頃完成予定）

■肺がん検診（単独受診）の流れ

①まずは、コールセンターに電話します

肺がん検診を申し込みたいのですが

受診票をお送りします

簡単！便利！

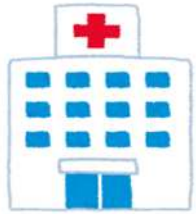
午後6時まで受け付けているから、お仕事が終わってからでも間に合います

すみだ けんしんダイヤル

㊟区の健康診査(特定健診等)の対象の方は、肺がん検診の実施医療機関で健康診査を受ける際に「肺がん検診も希望する」と申し出れば、事前の申込みが不要です

②受診票が届いたら・・・

実施医療機関に、ご自分の都合が良い日の予約を取って受診します



医療機関

肺がん検診 受診
【胸部エックス線検査】

後日、検診結果を聞きに行きます
※「要精検」の場合は精密検査も必ず受診

～受診で安心！がん検診～

“地域防災リーダー”×“中学生”が防災力を高めます！

地域力による防災

予算額（新規・拡充）　19,040千円

地域防災リーダーの育成強化（防災士の育成）(1)	3,120千円
総合防災訓練の充実 (2)	14,607千円
防災教育の推進 (3) (4) (5)	1,313千円

問合せ
防災課長 菅原幸弘 内線3551

教育委員会事務局
指導室長　横山圭介　内線5140

1　目的

防災士資格取得などを目指す防災リーダーを育成支援するとともに、将来の地域の担い手である中学生が防災教育の一環として普通救命講習を受講するなど、自助共助の防災対策を一層強化していく。

2　対象

(1) 住民防災組織、防災リーダー、消防団員、消火隊員などの区民

(2) 墨田区立中学校1年生　全生徒

3　主な事業の内容

(1) 地域力日本一の人づくり事業（新規）[3,120千円]

より実践的な知識や技能を身に着けるため、災害時に積極的に活動できる地域防災リーダーの育成を目指す。＜例＞**防災士資格取得講座の実施**・**資格取得の助成**

(2) 地域力日本一の総合防災訓練の充実（拡充）[14,607千円]

関係機関等による体験型の啓発活動や、区民参加型（体験型）訓練を充実させ、自助共助の推進による地域力強化を目的とした総合防災訓練を実施する。

＜例＞・**区民参加型訓練の充実、東京２０２０を見据えたシェイクアウト訓練の実施**

(3) 普通救命講習（新規）

向島・本所消防署と協力して中学校1年生の全生徒が同講習を受講・修了し、**救命技能認定証を獲得**する。

(4) 地域防災訓練等へ参加（新規）

各地域で行われている防災訓練等に積極的に参加する意識を芽生えさせ、地域に貢献しようとする意識を高める。

(5) 大規模災害等の発生時に活躍できる地域人材へ（新規）

大規模災害時等で設営される避難所において、応急および救命救急活動等で被災者のために力を尽くすなど、地域社会のために活躍する人材の育成を目指す。

※ (3) ～ (5) 含む[1,313千円]

事業のイメージ・その他

(1) 地域力日本一の人づくり事業

①意欲のある区民が　②知識・技能を身に着け　③災害時の頼れる**リーダー**に！

(2) 地域力日本一の総合防災訓練の充実

区民参加型訓練（備えんピック）

シェイクアウト訓練

(3～5) 普通救命講習など

・心肺蘇生
・ＡＥＤ
・異物除去
・止血法などを学ぶ

めざせ！地域力日本一

“働き続けたいまち”の実現

～活躍したい人が輝くチャンスをつかめるまち～

元気な中小企業がすみだにいっぱい！

すみだの中小企業応援事業

予算額（新規・拡充）
20,000千円
（経営改善のための機器導入補助）
14,337千円
（ものづくりコラボレーション事業）

問合せ
経営支援課長
田村俊彦　内線5421
産業振興課長
中山賢治　内線5431

1　目的

働き続けたいまちすみだの実現のために、区内中小企業に対する支援をさらに強化する。

2　事業内容

（1）経営改善のための機器導入補助(新規)〔20,000千円〕

生産設備などの機器を導入する場合に、その経費の一部を補助する。

補助率　1/2　　限度額100万円

併せて、事業承継・女性活躍促進に係る計画を策定する（した）企業に対しては、補助率・限度額をアップする。

補助率　2/3　　限度額150万円

（2）すみだ地域ブランド戦略「ものづくりコラボレーション事業」(再掲)（拡充）〔14,337千円〕

東京オリンピック・パラリンピックを契機とした新プロジェクト（すみだコンテンポラリー）を実施する。

※地域ブランド戦略の推進[42,000千円]のうちの拡充分

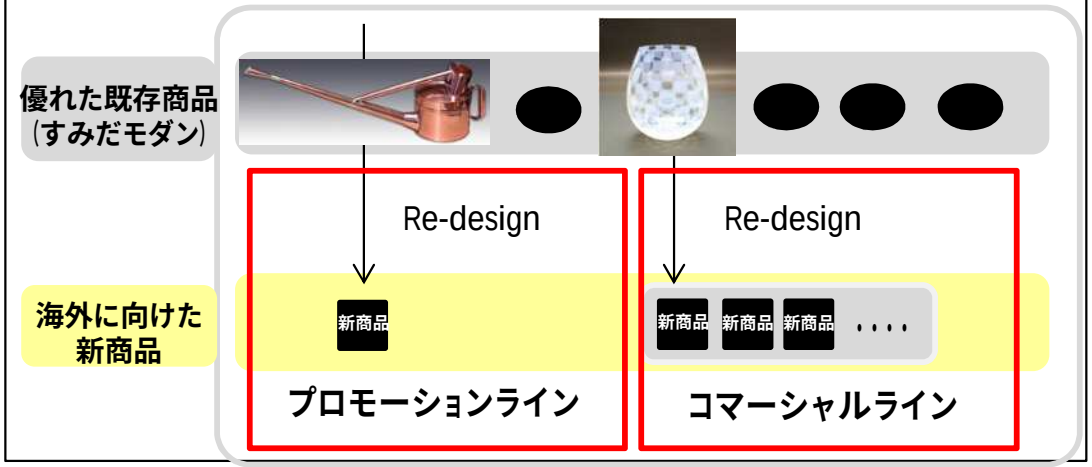
■経営改善のための機器導入補助

● 区内中小企業
計画作成・申請・機器導入・補助金受領

● すみだビジネスサポートセンター
各種計画書の作成をサポート

● 墨田区
申請受付・審査・交付決定

■ものづくりコラボレーション事業「すみだコンテンポラリー」



“訪れたいまち”の実現

～さまざまな交流が生まれる憧れのまち～

水辺とまちがつながる、ひとがつながる

北十間川・隅田公園観光回遊路整備事業

予算額（拡充）
212,980千円(1)(2)(4)
291,000千円(3)

問合せ
都市整備課長　天海 晴彦
内線3911
道路公園課長　齋藤 雄吉
内線5051

■事業の概要

1　目的

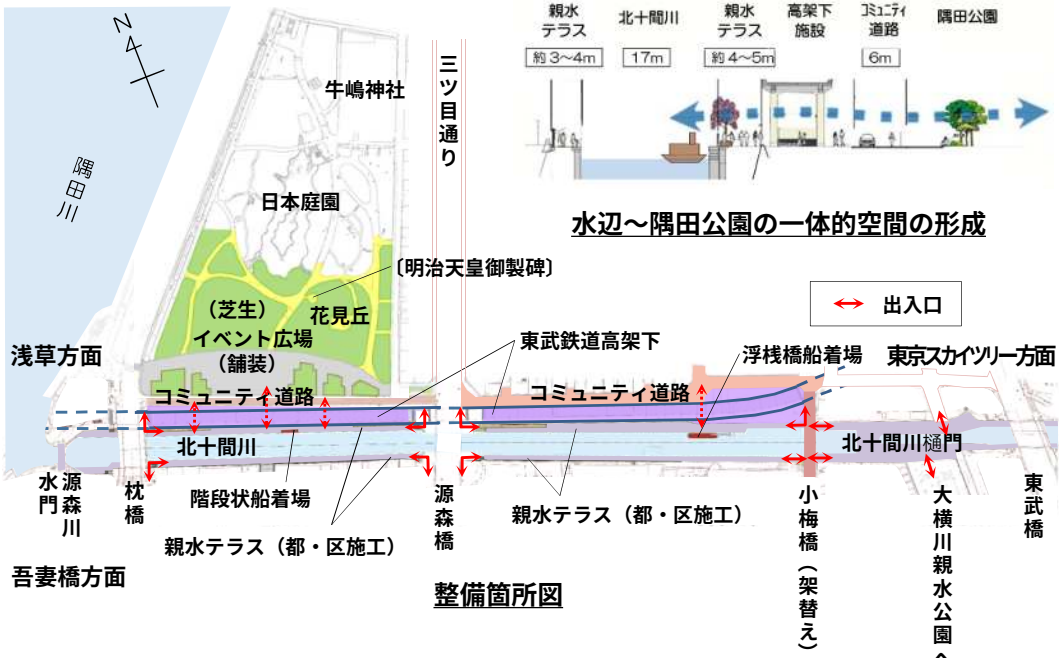
北十間川西側区間（隅田川から東武橋まで）において、東京都の耐震護岸整備や東武鉄道㈱の高架下整備に合わせて、隅田公園、コミュニティ道路、親水テラス、船着場の整備及び小梅橋の架替えを、2020年に向けて行う。

これにより、公園、道路、高架下、水辺が一体となった賑わい空間を創出することで、回遊性の向上を促進していく。

2　主な実施内容

(1) コミュニティ道路整備	55,016千円
・整備工事（枕橋～源森橋間）	49,000千円
・実施設計（源森橋～小梅橋間）	6,016千円
(2) 隅田公園再整備	155,700千円
・隅田公園再整備工事（その1）（基盤整備と樹木整理）	140,000千円
・トイレ実施設計	6,000千円
・運営・活用手法の検討業務等	9,700千円
(3) 小梅橋架替え　※道路公園課	291,000千円
・撤去工事等	84,500千円
・下部・上部工事等（H30-31債務負担行為含む）	206,500千円
(4) 地元協議会	2,264千円
・地元協議会運営補助業務等	2,264千円

■整備概要



■整備イメージ

整備前

整備後

その他主要事業

●「暮」地域力日本一の住んでいて良かったまちをつくる

・待機児童の解消
・長期休み中の学習等サポート事業
・公園等新設・再整備事業
・環境啓発車両による環境学習と啓発冊子の全戸配布
・戸籍証明のコンビニ交付
・日常生活支援の整備
・大規模水害対策の推進

●「働」活躍したい人が輝くチャンスをつかめるまちをつくる

・すみだの就労サポート

●「訪」さまざまな交流が生まれる憧れのまちをつくる

・江東内部河川整備事業
・北斎交流
・すみだ地域ブランド戦略
・台東区との連携事業
・東武伊勢崎線（とうきょうスカイツリー駅付近）立体化事業 および 駅周辺整備事業
・曳舟駅周辺整備事業

子育てしやすく！働きやすく！

待機児童の解消

予算額（新規・拡充）
亀沢保育園改築事業
566,628千円
学童クラブの新設及び運営等事業
709,321千円
私立保育所等整備助成事業
1,157,323千円

問合せ
子育て支援課長
浮田　康宏　内線3441
子育て政策課長
高橋　義之　内線3401

1　目的

墨田区子ども・子育て支援事業計画に基づき、区民ニーズに沿った保育所等の整備を実施し、待機児童の解消を図る。

2　内容

(1) 亀沢保育園の改築（新規）[566,628千円]

老朽化が進んだ亀沢保育園を改築し、保育定員を拡大（20人増）するとともに、学童クラブ（最大定員８０人）を併設し学童クラブ待機児童の解消も図る。（平成３０年６月開園予定。）

(2) 学童クラブの新設等及び運営（新規・拡充）

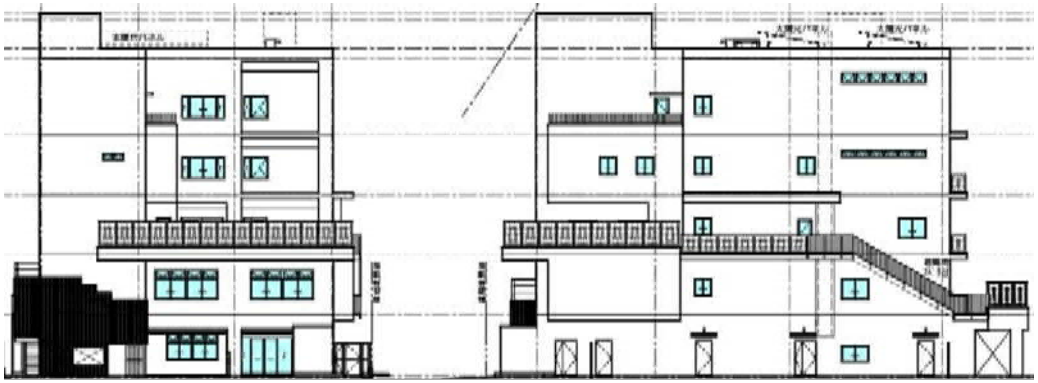
[709,321千円：うち新設等38,184千円]

墨田区子ども・子育て支援事業計画に基づき、学童クラブの定員拡充及び事業の充実を図る。

(3) 私立保育所等整備助成事業(拡充)[1,157,323千円]

認可保育所設置・運営事業者を公募・選定し、整備費等を補助する。

事業のイメージ・その他



			改築前	改築後
構造			RC造5階建て (1・2階保育所) (3～5階職員寮)	RC造5階建て (1～3階保育所) (4・5階学童クラブ)
延床面積			1278.27㎡	1865.02㎡
保育所	認可定員		96人	116人
	内訳	0歳児	9人	12人
		1歳児	14人	18人
		2歳児	16人	20人
		3歳児	18人	22人
		4歳児	19人	22人
		5歳児	20人	22人
学童クラブ 2室			ー	80人

いつでもすみだの子どもの味方！

長期休み中の学習等サポート事業

予算額（拡充）
15,453千円

問合せ
生活福祉課長
倉松　邦多
内線３３１１

1　概要

学力向上や孤食防止などを目的に、子どもたちが長期休み中に気軽に立ち寄れる「居場所」を整備し、様々な事情を有する子どもを支援する。

2　内容

（1）長期休み期間中の学習支援及び食事提供（拡充）[2,973千円]

ひとり親家庭等医療費助成制度適用世帯の子どもを対象に、長期休み期間中の宿題達成を希望する子どもに対し、宿題のサポート（学習支援等）及び昼食の提供を行う。

（2）生活困窮者学習支援事業[12,480千円]

生活困窮世帯の中学生等を対象に、無料の学習会を年に50回開催する。

すみだの「居場所」にいると・・・

○対象者：ひとり親家庭等医療費助成制度適用世帯の子ども等
○定員：７０名を予定（北部会場　３５名　　南部会場３５名　）
○実施期間：（1）夏期：8月中の１０日間程
（2）冬期：１２月から翌年1月の5日間程
○食事提供：昼食を提供する予定

～楽しく遊ぶ　ゆっくり憩う　すみだの公園づくり～

公園等新設･再整備事業

予算額（拡充）
101,030千円

問合せ
道路公園課長　齋藤雄吉
内線5051
都市整備課長　天海晴彦
内線3911

1　目的

公園や児童遊園は、子どもから高齢者まで幅広い世代に利用される場所であることから、区民のニーズや周辺の環境等を踏まえた魅力ある公園等の新設･再整備を進める。

2　内容

（1）くるみ児童遊園（業平五丁目）の整備、柳島児童遊園（横川五丁目）の実施設計[52,000千円]

個人の善意による寄付金を活用し、寄付者の思い出の場所でもあるくるみ児童遊園及び柳島児童遊園を、子どもたちが楽しくあそべる場所として再整備する。

（2）日進公園（亀沢三丁目）の実施設計[10,000千円]

隣接する旧家庭センター跡地に民設民営の認可保育所等が整備される予定であることから、平成２９年度の基本設計に引き続き、実施設計を行う。

（3）旧中川水辺公園照明灯の設置[10,000千円]

旧中川水辺公園の遊歩道における夜間の安全性を確保するため、照明灯の設置を行う。

（4）大横川親水公園のリノベーション[19,000千円]

業平橋北側施設のリノベーションを図るため、実施設計を行う。

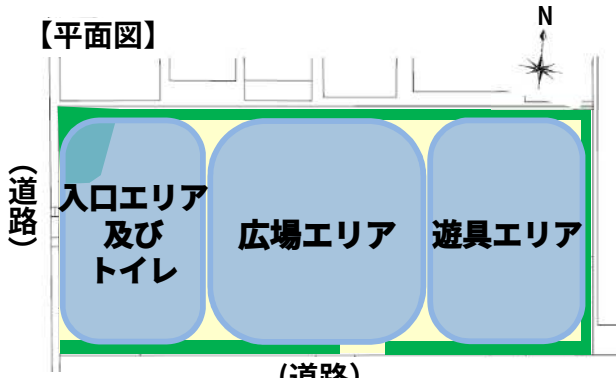
（5）その他公園の整備等[10,030千円]

銅像堀公園の再整備に向けた調査測量及びとらばし児童遊園の再整備を行う。

■善意の気持ちを大切に整備します

～くるみ児童遊園イメージ～

【平面図】



砂場

複合遊具

ブランコ

トイレ

未来に引き継ぐ環境にやさしいまちの実現

環境啓発車両による環境学習と啓発冊子の全戸配布

予算額（拡充）
12,723千円

問合せ
すみだ清掃事務所長
西村克己
5608-6922

1　目的

平成29年度に中間見直しを行った「墨田区一般廃棄物処理基本計画」の最終目標達成（平成32年度）に向けて、子ども達の環境学習機会を増加するとともに、区民へのより分かりやすいごみの出し方などを情報提供する。

2　事業内容

(1)環境啓発車両「わかるくん」による環境学習機会の増加

[946千円：車両リース代](ごみの収集・運搬828,349千円に含まれる)

ア　区立保育園への出前講座

子どもに人気の「人を助ける赤い車（消防車）」に対して、“暮らしを支える青い車（清掃車）”に興味をもってもらうとともに、また保育士にも、ごみとリサイクルの重要性について、デモ実演とごみ積込み体験を通して周知を広める。

イ　その他

災害等の有事の際に、ごみの排出・収集に関する情報を周知する広報車両として稼働する。

(2)保存版啓発冊子「資源物とごみの分け方・出し方」の全戸配布[11,777千円](リサイクルの普及啓発14,591千円に含まれる)

配布から5年を経過しているため、下記の情報を追加・更新した冊子を作成する。

ア　墨田区のごみの現状と3Rの推進について

イ　資源物とごみの排出方法について

ウ　生ごみの水きり・雑がみの資源化の徹底、陶磁器製食器リサイクル、食品ロス削減 など

事業のイメージ・その他

≪平成32年度までの目標≫

- 1人1日あたりのごみ排出量520g以下
- 資源化率23%以上
- 年間総排出量91,000トン以下

・環境学習機会の増加
ごみの分別とリサイクルについての体験学習

清掃車の仕組みやごみ処理の様子を視覚的に理解できる。

区民・事業者・行政が協力

リサイクルやごみの出し方の情報提供

・内容の充実・更新
（16ページから32ページに拡大）

≪中間見直し結果(平成27年度実績・中間目標値)≫

- 1人1日あたりのごみ排出量572g（中間目標値560g以下）
- 資源化率19.8%（中間目標値21%以上）
- 年間総排出量91,109t（中間目標値95,000t以下）

もっともっと手軽に便利に♪

戸籍証明のコンビニ交付

予算額（新規）
※マイナンバーカードの交付促進
102,551千円のうち
7,333千円

問合せ
窓口課長
遠藤　稔
内線3101

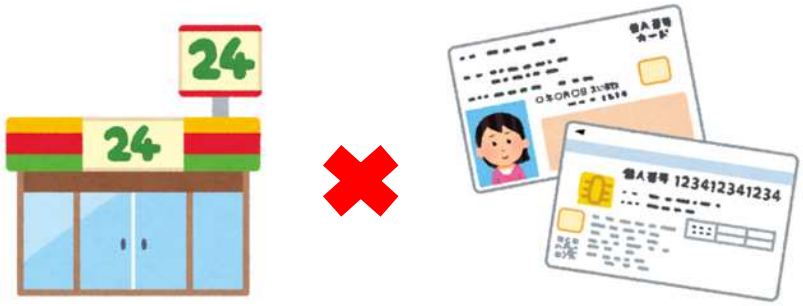
1 目的

墨田区に本籍のある区民および区民以外の本籍人の利便性向上を図り、マイナンバーカードの普及を促進する。

2 主な事業内容

平成２８年７月１１日から開始したコンビニ交付サービスについて、交付可能な証明書に戸籍証明（戸籍全部事項証明書、戸籍個人事項証明書及び戸籍附票の写し）を加える。

コンビニ　　マイナンバー



事業のイメージ･その他

戸籍証明がコンビニで取得可能に！（平成３０年１２月予定）

コンビニエンスストア等のマルチコピー機で住民票の写し、印鑑登録証明書、特別区民税・都民税課税（非課税）証明書が取得できる「証明書コンビニ交付サービス」に戸籍証明を追加します。

証明書の種類	窓口交付	コンビニ交付
戸籍証明	４５０円	３５０円(予定)
附票証明	３００円	２００円(予定)
[参考]		
住民票	３００円	２００円
印鑑登録証明書	３００円	２００円
特別区民税･都民税課税(非課税)証明書	３００円	２００円

ポイント１

窓口よりも手数料がお得！！

窓口交付より１００円安く証明書をお取りいただけます。（予定）

ポイント２

区外にお住いの方でも！

本籍地が墨田区でマイナンバーカードがあれば、区内にお住いの方はもちろん、区外にお住いの方もサービスをご利用いただけます！

「共に生きる」を支える

日常生活支援の整備

予算額 (新規)
・159,731千円
(福祉総合型高齢者支援総合センターの整備)
・97, 144千円
(重度肢体不自由児 (者) 生活介護事業所運営補助事業)

問合せ
高齢者福祉課長
福田　純子　　内線　3410
介護・医療連携調整担当副参事
梅原　和恵　　内線　3411
障害者福祉課長
杉崎　和洋　　内線　3361

1　福祉総合型高齢者支援総合センターの整備[159,731千円]

(1) 目的

1人暮らしや認知症の高齢者が増え、地域で高齢者を支える仕組みづくりが重要になっている。そこで、地域包括ケア推進の拠点として、従来の「高齢者支援総合センター」の機能を強化した高齢者支援総合センター (福祉総合型) を整備する。

(2) 施設概要

ア (仮称) 京成押上線高架下高齢者支援総合センター (福祉総合型)・高齢者みまもり相談室 (140,199千円)
所在地：墨田区八広5－10 (京成押上線八広駅高架下：予定)
延床面積：約650㎡ (1階建て)
開設時期：平成31年1月開設予定

イ (仮称) 都営文花一丁目団地高齢者支援総合センター (福祉総合型)・高齢者みまもり相談室 (19,532千円)
所在地：墨田区文花1－1－22 (予定)
専用面積：約465㎡ (8階建て集合住宅1階)
開設時期：平成31年度開設予定/平成30年度末工事完了

2　重度肢体不自由児 (者) 生活介護事業所運営補助事業 (新規)[97,144千円]

(1) 目的

重度の肢体不自由児 (者) を対象とした生活介護事業所の運営を支援し、対象者の日中活動の場を確保及び社会参加の機会を保障する。

(2) 施設概要

所在地：墨田区八広5－10－18 (京成押上線八広駅高架下：予定)
延床面積：873.48㎡　(2階建て)
平成30年開設：運営法人　社会福祉法人晴山会 (本部：千葉市)

福祉総合型高齢者支援総合センター

●活動支援ゾーン

地域住民と連携した、介護予防事業や、認知症カフェ等を展開。また「医療特化型認知症介護者教室」も先駆的に実施

●相談・生活支援ゾーン

高齢者の総合相談のほか、身体障害者手帳取得支援等の窓口を定期的に開設し、相談機能を充実。

～地域包括ケア～

重度肢体不自由児 (者) 生活介護事業所

●補助内容

・事業所運営経費補助　・送迎車両運行経費補助
・支援体制強化に伴う人件費補助等

●定員

・生活介護 (定員20人・初年度見込8人)
・放課後等デイサービス (定員5人)

●特徴

医療的ケアに対応・看護職員の複数配置・入浴支援の実施

～共生～

海抜ゼロでも犠牲者ゼロへ！

大規模水害対策の推進

予算額（拡充）
29,590千円

大規模水害対策の推進
（江東5区広域避難推進協議会負担金）（1）（2）（3） 2,500千円
洪水・都市型水害ハザードマップの全戸配布（4） 27,090千円

問合せ
防災課長 菅原幸弘 内線3551
都市整備課長 天海晴彦 内線3911

1　目的

海抜ゼロメートル地帯が広がる本区を含む江東5区では、大規模水害が発生した場合、広範囲が深刻で長期的な浸水被害を受けると想定されている。このような水害の犠牲者をゼロにするためには、浸水区域外への広域避難が必要となるため、江東5区が協働して対策を進める。また、29年度に改定した区内の水害リスクなどをより詳しく記載した「墨田区水害ハザードマップ」を全戸配付する。これらの事業を実施することで、区民等の自助・共助による水害対応力の向上を図る。

2　主な事業内容

（1）「江東5区広域避難行動計画」の策定[1,450千円]

大規模水害の発生時、江東５区及びその区民等がとるべき行動を示した計画を策定する。

（2）「江東５区ハザードマップ」の作成[320千円]

大規模水害時の避難先等を検討するにあたっては、一つの区ではなく、周囲の区も含めて広域的に判断する必要があるため、江東5区共同で共通のハザードマップを作成する。

（3）「シンポジウム」の実施[730千円]

大規模水害時の適切な避難行動を理解してもらうため、江東5区共同でシンポジウムを開催する。

（4）「墨田区水害ハザードマップ」の印刷・配付[27,090千円]

①形式はＡ１サイズ（表・裏）の地図とＡ４サイズ（20Ｐ）冊子
②言語は「日本語版」と「外国語版（日・英・中・韓の4か国語併記）」の2種類
③配付数は全世帯及び事業所配付分約165,000部、窓口等配付分約35,000部
④ポスティングによる配付（不可の場合は一部配送）

事業のイメージ・その他

「江東５区広域避難行動計画」イメージ

より広域に避難するための
「江東５区ハザードマップ」イメージ

シンポジウム

区内の水害リスクなどをより詳しく記載した
「墨田区水害ハザードマップ」イメージ

すみだで働くすべての人のために

すみだの就労サポート

予算額（新規）
23,374千円
（若者・女性求職者への支援28,079千円のうち拡充分）
4,000千円
（福祉作業所等経営ネットワーク新商品開発等支援）

問合せ
経営支援課長
田村俊彦　内線5421
障害者福祉課長
杉崎和洋　内線3361

1　目的

すみだで働くことを希望している若手人材や女性のほか、すでに働いている障害のある方の就労をサポートすることで、働き続けたいまちの実現を図る。

2　事業概要

（1）若者・女性求職者への支援（新規）〔23,374千円〕

若手人材だけでなく就職に悩んでいる、あるいは子育て中の女性への支援も行う。

ア　区内中小企業で働くことの魅力を発信
冊子やwebサイトによる区内企業の魅力を発信する。
特に、女性向けセミナー等の支援に力を入れる。

イ　若手人材・女性の活力の発掘、人材を求める区内中小企業とのマッチング

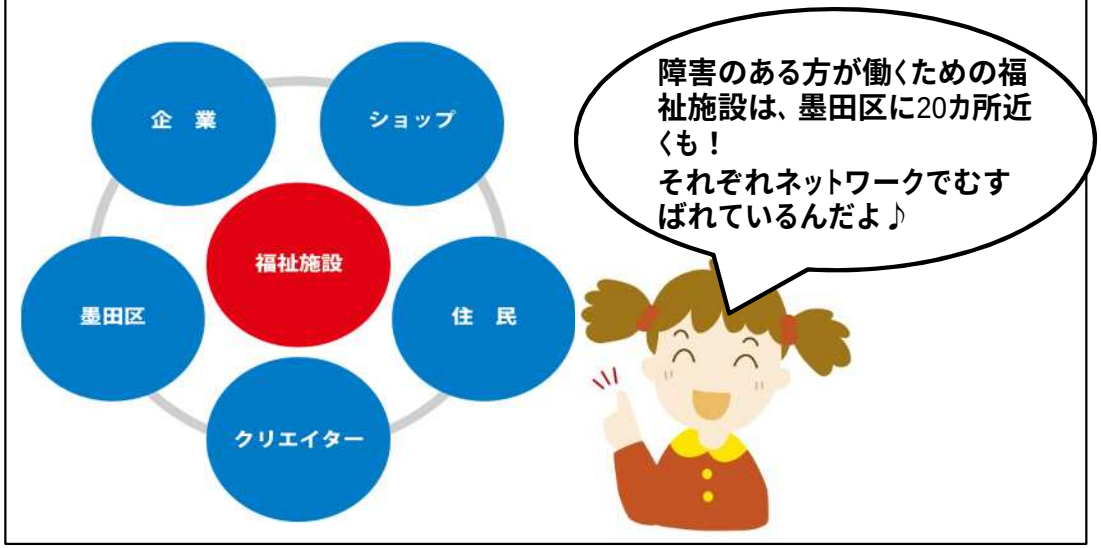
ウ　就職先での定着を図るための人材育成と区内中小企業の働き方改革への支援

（2）福祉作業所等経営ネットワーク新商品開発等支援〔4,000千円〕

地域のクリエイターと福祉作業所利用者が協力して新商品開発を行っている。さらに、利用者が講師として参加するワークショップを開催し、障害のある方が活躍できるまちすみだを発信する。

■若者・女性求職者への支援

■福祉作業所等経営ネットワーク新商品開発等支援



～より身近な水辺を目指して～

江東内部河川整備事業

予算額
85,375千円

問合せ
都市整備課長
天海　晴彦
内線３９１１

1　目的

墨田区内を縦横に流れる江東内部河川※の護岸テラスを遊歩道として整備することにより、うるおいとやすらぎのある魅力的な水辺空間を創出する。

※　江東内部河川とは、荒川と隅田川に挟まれた江東三角地帯を流れる河川（計１１河川）であり、区内には旧中川・大横川・北十間川・横十間川・竪川の５河川が流れている。

2　平成30年度の整備内容

（1）竪川[38,375千円]

新竪川橋～竪川橋間（延長約100m）の遊歩道整備（舗装改修、植栽帯の整備等）

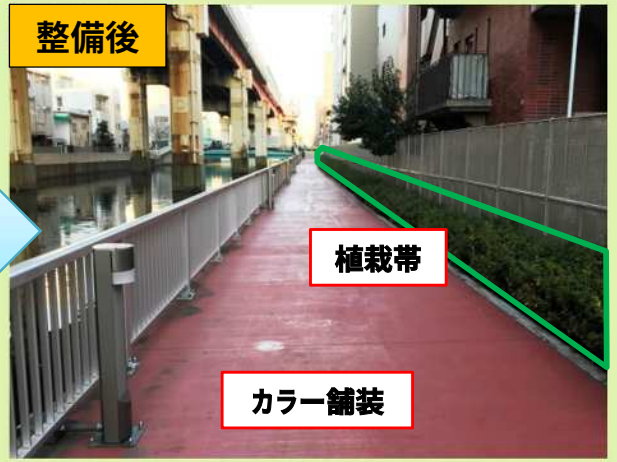
（2）北十間川[47,000千円]

西十間橋下の遊歩道整備（延長約15m）
（護岸テラスの連続化）

3　整備イメージ

（1）竪川（新竪川橋～竪川橋間）の遊歩道整備

新竪川橋～竪川橋間の現況写真



整備完了区間（二之橋～千歳橋間）の現況写真

（2）北十間川（西十間橋下）の遊歩道整備

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた文化芸術プログラムの展開！

北斎交流

予算額（新規・拡充）
50,909千円

問合せ
文化芸術振興課長
南部 友孝
内線5451

北斎交流 ＝ 北斎 × 海外交流 × 地域交流

1　北斎交流
すみだが生んだ世界の偉人 葛飾北斎。「すみだ北斎美術館」の開館を契機に“北斎”を通じて展開する“海外交流”・“地域交流”。

（1）　海外展開等
①欧米の美術館との交流促進！
②“北斎”・“美術館”をテーマにしたシンポジウム等の開催
③北斎”を通じた美術館・博物館との連携促進（拡充）[8,909千円]

（2）　地域展開
「隅田川　森羅万象　墨に夢（すみゆめ）プロジェクト」の継続・拡充実施（拡充）[34,000千円]

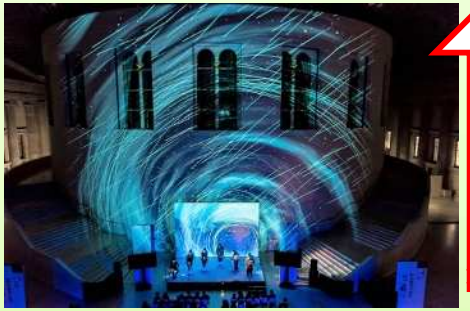
2　文化芸術振興のあり方検討（新規）[8,000千円]
江戸文化発祥地「すみだ」ならではの展開で東京一大文化拠点形成に向けた指針づくり。

海外交流　POINT１

平成30年は、欧米美術館との交流促進！

すみだ北斎美術館の開館を契機に、海外特に欧米を中心とした大使館から要人等多数来館→海外美術館との交流機運醸成！

≪29年度実績≫



展開

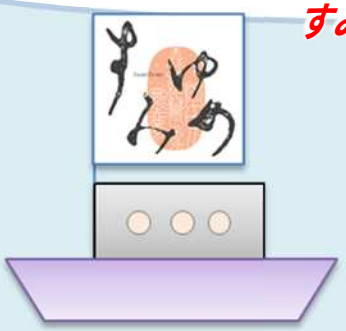
ロンドン・大英博物館で朗読劇公演を開催！
北斎展を開催中の大英博物館で、日本を代表する演出家・宮本亜門氏による朗読劇「画狂人 北斎」を開催！（平成29年7月）

日本外国特派員協会でプレス発表実施！
海外のプレス関係者等に向けて、すみだと北斎美術館をＰＲするプレス発表を実施！（平成29年4月）

地域交流　POINT２

今年のすみゆめは、隅田川 にこだわる！

※すみゆめとは、すみだ北斎美術館開館を契機に始まった文化芸術プロジェクト



すみだ発！地域連携新企画始動！

パイロット企画
隅田川を拠点に水辺活用地域交流！すみゆめ発で、隅田川を舞台に、エンターテインメントコンテンツを立ち上げ。

寄　合
一緒に「すみゆめ」について考え、実践していく表現活動を行っている個人・団体が情報交換を行う場。月一回開催

ネットワーク企画
すみゆめの趣旨に賛同した団体が期間に関わらず企画を実施。（補助無）すみゆめＨＰ等と広報連携。

プロジェクト企画
企画を公募し、選考会を経て、企画を採択。採択団体には補助を行い、企画実施。

すみゆめ踊行列
すみゆめのキックオフ企画。

すみだのものづくりを世界に発信！

すみだ地域ブランド戦略

予算額（拡充）
45,000千円

地域ブランド戦略の推進 42,000千円
地域プロモーションの支援　3,000千円

問合せ
産業振興課長
中山賢治
内線5431

1 目的

すみだのものづくりの魅力を「発掘」・「創造」・「発信」することで、他地域との差別化を図り、すみだならではの地域ブランドとして、産業や地域の活性化を推進していく。

2 主な事業内容

(1) すみだモダン　ブランド認証事業（発掘）〔5,000千円〕

優れた既存商品を「すみだモダン」というブランド名で認証しPRする。

■台湾の国際的なデザイン賞「GOLDEN PIN DESIGN AWARD」にすみだモダン認証商品が2年連続受賞！
2016年度：6商品　2017年度：3商品

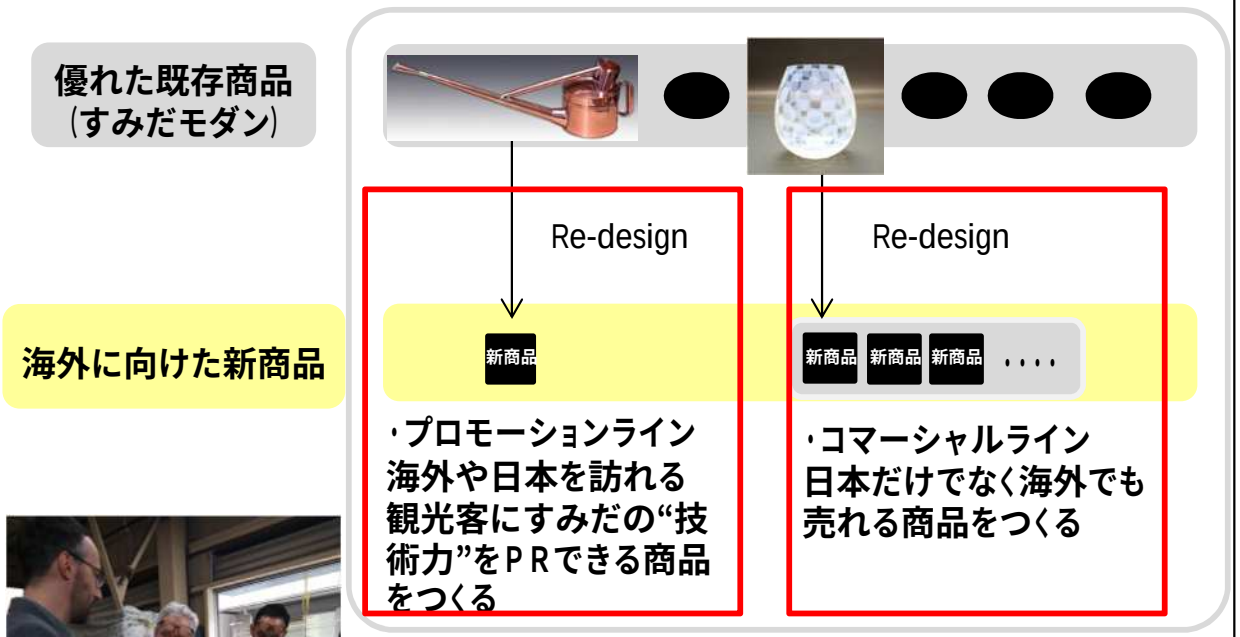
(2) ものづくりコラボレーション事業（創造）（拡充）〔14,337千円〕

ア　区内製造事業者とクリエイターとのコラボレーションによる新商品開発を行う。
イ　東京オリンピック・パラリンピックを契機とした新プロジェクト（すみだコンテンポラリー）の実施

(3) 販路開拓・PR事業（発信）〔25,663千円〕

国内外での展示会出展や、すみだファクトリーめぐり（スミファ）など、観光施策との連携も図りながら、すみだの商品の販路開拓やPRを行う。
※地域プロモーションの支援[3,000千円]を含む

●ものづくりコラボレーション事業
東京オリンピック・パラリンピックを契機とした新プロジェクト（すみだコンテンポラリー）



ようこそ！すみだ･台東へ～東京2020を目指して～

台東区との連携事業

予算額（新規･拡充）
8,000千円

問合せ
観光課長
佐久間　英樹
内線5481

1　目的

平成29年10月に締結した「墨田区と台東区の観光分野における連携協定」に基づき、墨田･台東両区の観光資源等を更に連携させ、有効活用を図る。東京2020オリンピック･パラリンピック競技大会等に向け、更なる観光誘客に両区一丸となって取り組んでいく。

2　事業概要

（1）主な共同イベント（6,000千円）（新規）

ア　明治150年記念事業「（仮）江戸を守った男たち」

江戸城無血開城の立役者である勝海舟、西郷隆盛らにスポットを当てた講演会やシンポジウム、両区共同の物産展、勝海舟像（墨田区）と西郷隆盛像（台東区）を結ぶまち歩きガイドツアーなどを開催する（平成30年秋頃）。

イ　（仮）池波正太郎が描いた江戸巡り

「鬼平犯科帳」など、池波正太郎作品の舞台となった場所を巡る“江戸回想散歩”コースの造成等(平成30年秋頃)

ウ　隅田川両岸でのイベント連携

･とうろう流しの共同実施（平成30年8月）

･「THE　GREENMARKET　SUMIDA」及び「吾妻橋フェスト」と「浅草サンバカーニバル」の同日開催（平成30年8月）

（2）**外国人観光客等誘客事業の共同実施（2,000千円）**

･ビジットジャパン地方連携事業の推進（日光･会津･台東区）

･鉄道事業者等と連携した新たな観光周遊ルートの造成等

踏切除却 ＋ 駅周辺整備 ⇒ 魅力あふれる拠点の形成

東武伊勢崎線（とうきょうスカイツリー駅付近）立体化事業 および 駅周辺整備事業

予算額（拡充）
1，480，981千円(立体化事業)
37，055千円(駅周辺整備事業)

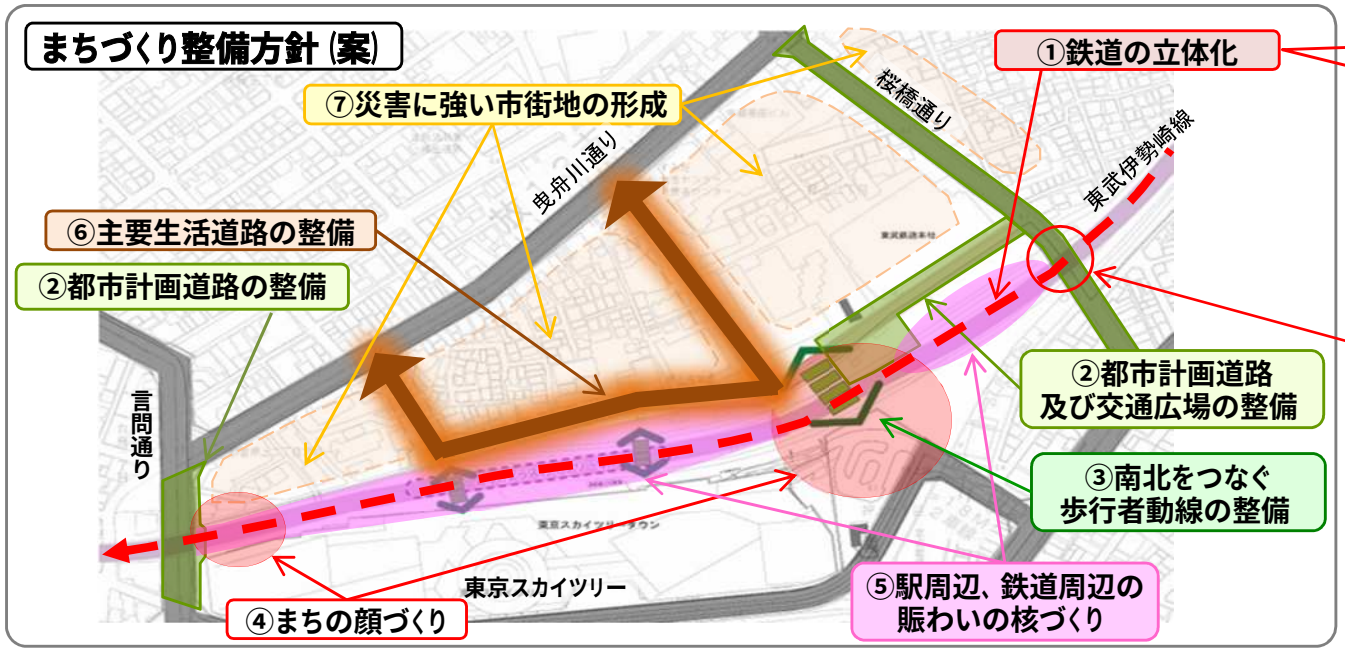
問合せ
立体化推進課長
江波戸 史恭　内線3991
拠点整備課長
和田 聖子　内線3981

（1）東武伊勢崎線（とうきょうスカイツリー駅付近）連続立体交差事業 〔1,480,981千円〕

・伊勢崎線第2号踏切（桜橋通り）を中心に、約0．9kmの鉄道を高架化することで、踏切を除却する。
・これにより、道路と鉄道それぞれの安全性向上、交通流動のボトルネック解消、南北市街地の行き来が容易になるなど、まちの一体化を図る。
・平成30年度は、鉄道高架化に伴う留置線の移設工事や、鉄道の詳細設計等を実施する。

（2）とうきょうスカイツリー駅周辺整備事業 〔37,055千円〕

・駅周辺整備により、区民や来街者が交流する利便性の高いまちとして賑わうとともに、誰もが安全･快適に暮らすことができる、区の中心部に相応しい広域総合拠点を形成する。
・平成30年度は、まちづくり整備方針（案）に基づくまちづくりを推進するため、区民とともに駅北側まちづくりの検討を行う。また、災害に強い市街地の形成のため、防災機能のある主要生活道路を都市計画に位置付けるとともに、不燃化特区制度の活用により建て替えを促進する。



事業名称	東武伊勢崎線（とうきょうスカイツリー駅付近）連続立体交差事業
事業延長	約 0.9km（駅のホームは東側へ約150m移設）
構造形式	高架式（仮線方式により施工）

伊勢崎線第2号踏切（桜橋通り）
（平成29年12月撮影）

にぎわいのある駅前まちづくりを推進します！

曳舟駅周辺整備事業

予算額（拡充）
128,961千円(曳舟駅周辺整備事業)
160,000千円(曳舟たから通り整備事業)

問合せ
拠点整備課長
和田　聖子　内線3981
都市整備課長
天海　晴彦　内線3911

1　目的

市街地再開発事業等による面整備により、土地の高度利用を促進し、区北部地域の広域拠点に相応しい、商業・業務等のにぎわい機能の集積を図り、災害に強く安全で快適な魅力ある複合市街地の形成を図る。

また、地区 の中心軸である曳舟たから通りや交通広場、地区を周回する道路について、電線類地中化や道路景観整備工事を行う。

2　主な事業内容

⑴ 京成曳舟駅周辺道路整備事業

・墨田区画街路第６号線（全区間、交通広場を含む）
　延長：135m、幅員：12m、交通広場面積：2,500㎡
・墨田区画街路第７号線（一部区間）
　延長：70m、幅員12m

⑵ 曳舟駅周辺地区整備事業

・東武曳舟駅前地区のまちづくりの推進

⑶曳舟たから通り整備事業

・延長約350m、幅員（現況：11m→計画：17m）

曳舟たから通り完成イメージ①

曳舟川通り側から望む

曳舟たから通り完成イメージ②

四ツ目通り側から望む

3　平成30年度の取り組み

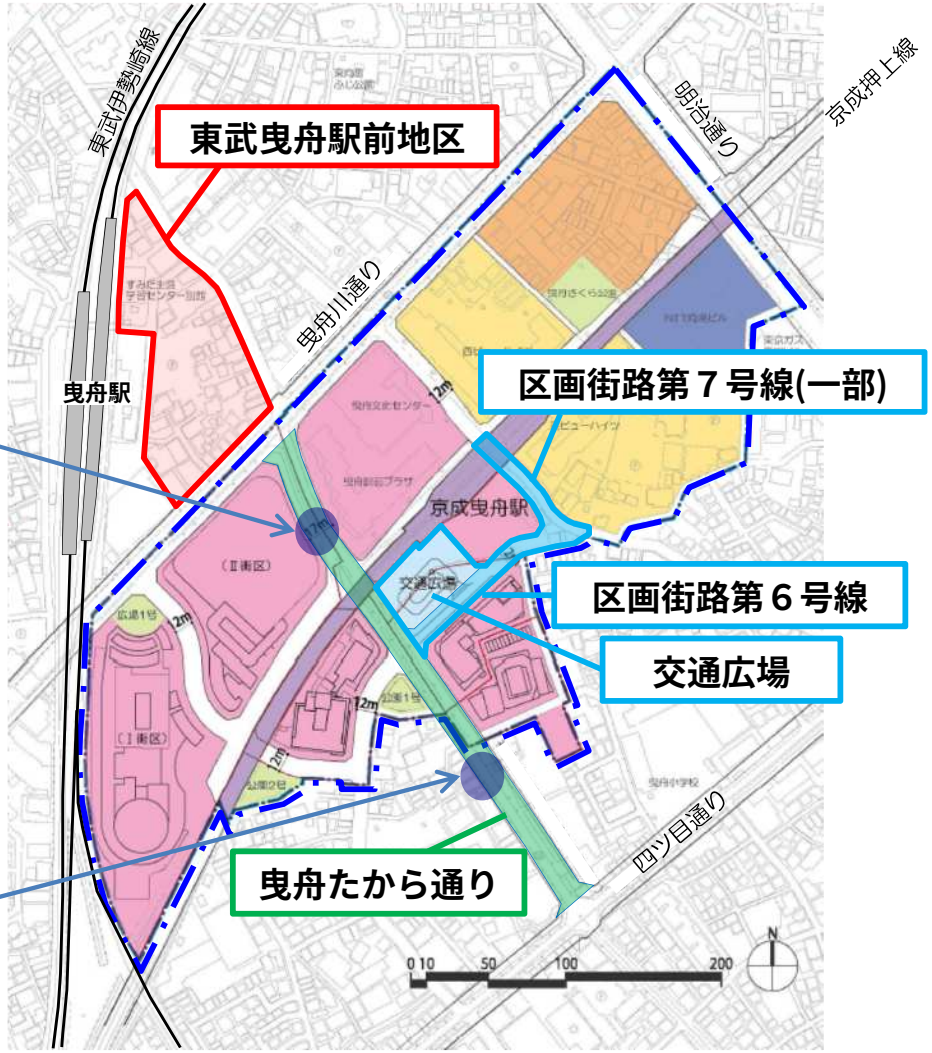
⑴ 京成曳舟駅周辺道路整備

・電線共同溝本体工事（6号線一部区間）、
・用地取得交渉他

⑵ 東武曳舟駅前地区のまちづくり

・まちづくり計画案の作成、まちづくり協議会の運営支援
・地区計画等の検討

⑶曳舟たから通り整備事業(平成31年3月末完成予定)

・電線類地中化工事の継続
・道路景観整備工事　（バリアフリー化、歩道のカラー舗装化等）

事業のイメージ・その他